

2022年6月1日

ゆうやさん、サクラハウススタッフの皆さま、

「あなたは、私たちみんなにたくさんの感動を与えてくれました。」

サクラハウスは、多くの面で母の人生を豊かにしてくれました。

サクラは安全で楽しい場所。ここで実践された安全対策にはいつも感心していました。

だから母がコロナワクチンを受けた後サクラハウスに戻ることにに関して、心配はありませんでした。サクラでは安全対策がきちんと取られていることを知っていたからです。

母の送迎時、コロナ予防策がどれほど徹底していたかを目の当たりにしました。

詳細は覚えていませんが、お弁当屋さんが期限切れの食材を使用した際、家族にそのことを通知してくれたことに感謝しています。

連絡帳を通して、サクラハウスと家族間に健全なコミュニケーションが保てました。

朝、母をサクラハウスで降ろすたび、アルツハイマー病を患う母を、スタッフが手厚く世話をしてくれることを確信していました。

サクラハウスでの様々なアクティビティーは、毎回母を刺激してくれました。母はサクラのファミリーをエンジョイし、私たちは生花クラスで生けた花を持って帰ってくれるのが楽しみでした。

パンデミック中、サクラハウスが早速テクノロジーを駆使したこと。ズームを通して母が1日に2回も体操に参加できたことを、私たちは友人や家族に自慢をしたものです。

母は水曜日の歌の時間を楽しみにしていました。（わたしたちは母が30分間歌に集中してくれたのが嬉しかったです）”Sukiyaki”（「上を向いて歩こう）を歌ってくれてありがとう。母は、亡くなる当日もその歌を聞いていました。サクラハウスで歌った歌を口ずさみながら、毎晩眠りについていました。

サクラハウスは、私たち皆にたくさんの感動を与えてくれました。

皆さんの示してくれたお手本のおかげで、私たち（娘たち）はどのように母親と話したら良いか一特にアルツハイマーになってから一を学びました。皆さんのおかげで母は幸せでした。毎朝母を笑顔で迎え、迎えの時にもポジティブな言葉をかけてもらえて私たちも嬉しい気持ちになりました。スタッフの皆さんの声かけに、母は喜んで答えているのがわかりました。

母が便秘になったり、反応や歩みが遅くなっていく中、皆さんは私たちや母に対して、忍耐をもって接してくれました。おそらく母は、トイレに長時間こもっていたことでしょう。トイレトペーパーをそれは丁寧に折りたたむのが癖でしたから。

長い間サクラハウスを利用させていただきありがとうございます。皆さんの忍耐に心から感謝します。

週3日の利用日でしたが、その間私たちは休み、仕事をし、それぞれのアクティビティをこなすことができました。

サクラハウスは、母や私たちにとって最も必要なサービスを提供してくれました。これから皆さんに会えなくなるのが寂しいです。

「お世話さまでした」

感謝を込めて

家族一同